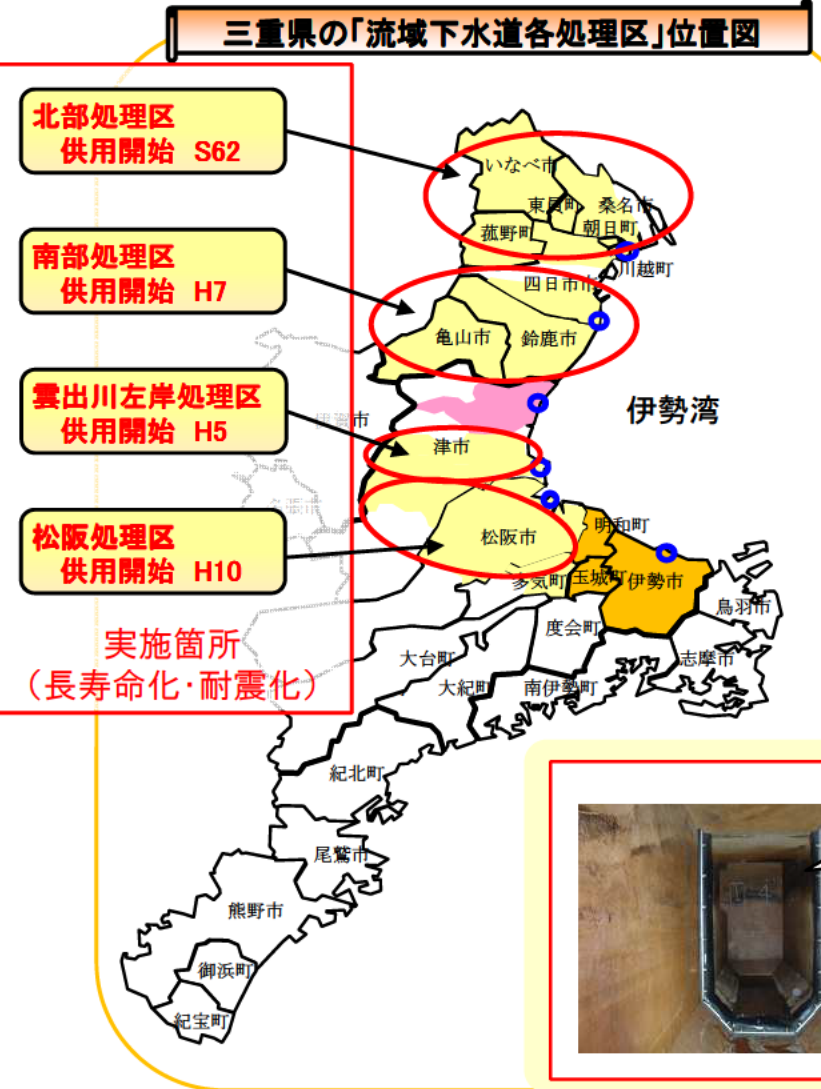


下水道施設の長寿命化・耐震化による街の安心・安全対策（三重県）

- 供用開始から15年以上が経過し、設備関係の老朽化が進行している。
 - ・近い将来発生が想定される南海トラフ地震により施設の被災が懸念される。
- 4処理区で改築工事・耐震化工事を効率的・計画的に実施する。
- 確実な汚水処理で、公衆衛生の確保と安心して暮らせる街づくりができる。



県が管理する流域下水のうち、4処理区では供用開始から15年以上が経過し、機械・電気設備の老朽化が進行している。また、現行の耐震性能を満たしておらず、大規模地震発生時には相当の被害が想定される。



老朽劣化が進む汚泥脱水機

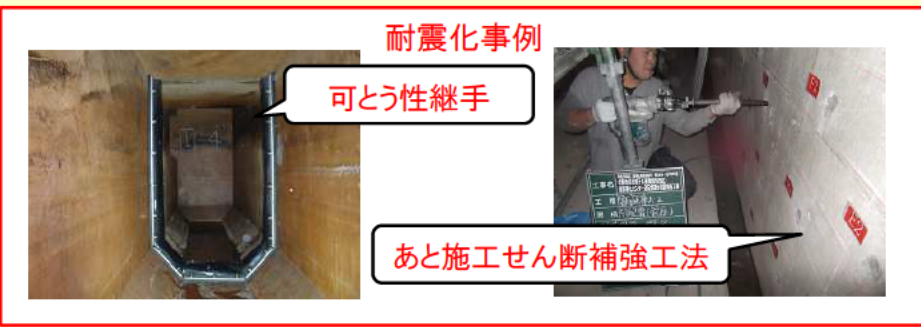


保守対応部品の供給が停止された監視制御設備

老朽化設備の故障発生時や大規模地震発生時には長期にわたる下水処理機能停止が危惧される。

● before

▶▶▶ after



計画的な設備改築・耐震化で安心して暮らせる街へ！！